

会 議 録

会議の名称	第3回白岡市地域公共交通会議及び 白岡市地域公共交通確保維持改善協議会
開催日	平成25年7月23日(火)
開催時間	午前10時00分 から 午前11時45分 まで
開催場所	白岡市役所庁舎3階庁議室
会長の氏名	秋葉清一郎
出席者(出席委員)の氏名・出席者数	高橋直樹、明野真久、細井将司、鶴岡 洋、高原 昭、佐々木 操、市村春樹、折原茂幸、浅野悦子、長谷川 博、野口政治、浅見淳二、中川幸廣、秋葉清一郎、菅原清孝 15人
欠席者(欠席委員)の氏名・欠席者数	橘井公治、斉藤正美、神山邦夫、尾崎晴男、柳 政男 5人
説明員の職・氏名	総合政策部長 平岩亮司 企画調整課公共交通準備室 室長 齋藤 久 企画調整課公共交通準備室 主幹 大谷昌司 企画調整課公共交通準備室 主査 内田英俊
事務局職員の職・氏名	総合政策部長 平岩亮司 企画調整課 課長 野口仁史 企画調整課公共交通準備室 室長 齋藤 久 企画調整課公共交通準備室 主幹 大谷昌司 企画調整課公共交通準備室 主査 内田英俊
その他会議出席者の職・氏名	傍聴4名

<p>会議次第</p>	<p>1 開会  2 挨拶  3 会議事項  (1) 検討項目 4〔運行エリア〕について  (2) 検討項目 2〔運行方式〕及び検討項目 7〔運行ダイヤ〕について  (3) 白岡市の新たな公共交通サービスに関するアンケートについて  (4) その他  第 4 回会議の日程について  4 閉 会</p>
<p>配布資料</p>	<p>会議次第  検討項目 4〔運行エリア〕について  検討項目 2〔運行方式〕及び検討項目 7〔運行ダイヤ〕について  白岡市の新たな公共交通サービスに関するアンケート調査票</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p><b>1 開会</b> 平岩総合政策部長の進行により会議が開会した。</p>
秋葉会長	<p><b>2 挨拶</b> 秋葉会長から挨拶が行われた。 埼玉県バス協会の鶴岡委員と埼玉県乗用自動車協会の高原委員から自己紹介が行われた。</p>
事務局	<p><b>3 会議事項</b> <b>(1) 検討項目4〔運行エリア〕について</b> 事務局から資料に基づき説明が行われた。</p>
A委員	<p><b>(質疑)</b> 商工会の立場から運行エリアは、市提示の市域全域という方向性でお願いしたい。 先月、栃木県芳賀町に視察に行った。 芳賀町は隣町に病院があり、町全域と町外の病院へ運行しているが、帰りは隣町のスーパーマーケットの袋を持ってバスに乗っている。 病院の利用もあると思うが、失敗だったと聞いている。 白岡市では市内に総合病院があるので、市域内でお願いしたい。</p>
秋葉会長	<p>商業の観点から意見をいただいた。他に意見はないか。</p>
B委員	<p>交通弱者の定義をこの会議ではどこに置くのか。 高齢者だけか、あるいは移動の足がなくて困っている人も含むのか。 病院へ連れて行くことを公共交通サービスの対象として、この会議を進めるのか。</p>

事務局	<p>本市においての交通弱者は、高齢者の方、駅・バス停から離れた地域にお住まいの方という定義をしている。</p> <p>高齢者の方のみならず、駅・バス停から離れた地域にお住まいで、自らの交通移動手段を持たず、移動に不便を感じている方である。</p> <p>サービスの目的については、通院は大きな目的であるが日常の買物も目的である。さらに、高齢者の方、不便な所に住んでいる方への外出支援、趣味・サークル活動など、暮らしの楽しみの部分での外出支援も目的としている。</p>
秋葉会長	<p>病院、買物、趣味・サークル活動に利用ができるように交通弱者の方の支援をしていくことを目的としている。</p>
C委員	<p>イメージは、白岡駅から病院へ歩いているお婆さんがいるので、何とかしなくてはというところではないか。</p> <p>お金に余裕があってタクシーを呼べる方には、このシステムでは時間がかかり遅い。</p> <p>月2回病院へ行かなくてはならないのに、タクシーだと1回しか利用できない方が、行きはデマンド、帰りにタクシーを利用すると費用は同じで2回通院できる。そういう方をメインと考えると、近くの病院や店へ行けるようにすることが必要と思う。</p> <p>全く行けない人、費用的な問題で少ししか行けない人の出かける頻度を増やすことが重要で、現在行ける人は、後ということになる。その場合は、市内のアクセスの充実を考えた方がよい。</p>
秋葉会長	<p>外出が困難な方の解消を対象に、運行エリアを考えるという意見である。他にないか。</p>
A委員	<p>ドア・ツー・ドア方式となった場合、交通弱者の方がデマンドを呼んでから、どの位の時間で迎えに行くのか。また施設から呼んだ場合、時間はどれくらいか。</p>

	<p>市外へ行くと交通事情が煩雑になり時間が読めないので、運行する車の台数を増やす必要があるのではないかと。 時間の観点からも運行エリアは市内でお願いしたい。</p>
秋葉会長	<p>資料2頁の運行エリアの比較の表にある「市外への運行は、車両の移動時間が長くなるため、運行効率が低下し、市域内の運行に影響する可能性がある」という記載と同じ意見である。</p>
D委員	<p>バス事業者から見ると、デマンドは競合会社ができるのと同じである。既存のバス事業者としてどう考えるべきか、事務局へお尋ねしたい。</p>
事務局	<p>白岡市としては、サービスの構築について既存の民間バス、JR、タクシーの営業活動に対する補完の意味を大切に、市域の全体的な公共交通サービスについて考えている。 市域全体で一体となって、市民の方の日常交通が便利になるように、この協議会で検討をお願いしている。 民間事業者の方々には、今後においてもサービスの維持拡大にご尽力をいただきたい。</p>
D委員	<p>既存の民間事業の補完的な意味合いや市民の足となるサービスということだが、事業が重なる部分がある。今ある路線に影響を受けると、運行形態を見直す事態が生じる場合がある。</p>
秋葉会長	<p>民間事業者の方から、既存の公共交通の競合になるかもしれないというご意見で、事務局からは民間事業の補完サービスとして、自宅から最寄りの駅・バス停までデマンドで、その先は既存の公共交通を利用してもらうとのこと。</p>
事務局	<p>次回の第4回会議で運行時間帯を協議して頂く予定であり、事務局として考えているのは、朝晩の通勤・通学の方は対象にしない時間帯を予定している。可能な限り、民間事業者と市の公共交通は、役割分担をしたいと思っている。</p>

E 委員	<p>「1 市域全域」の方向で検討するとあるが、資料3頁の方向性に「ただし、運行開始後において、事業の状況を勘案しながら市外への通院などの需要を見極め、見直しを検討することとしたい」とある。この場合は、2も取り入れるということか。隣接市の交通事業者との調整が難しいのではないか。</p>
事務局	<p>1点目の市外エリアについては、新たな公共交通事業が軌道に乗り、多くの方にとって市外への通院の需要が日常的にあると把握でき、市内の需要に応えられているという前提のもと検討していきたい。</p> <p>2点目の交通事業者との協議については、久喜市、蓮田市の交通会議で、白岡市からの運行の協議の申請をして、各協議会で承認されれば運行は可能となる。具体的な事案であるので、今、確定的なことは言えない。</p>
F 委員	<p>市外へのエリア拡大については、隣接市の交通事業者との調整が必要との話したが、市内の交通事業者との調整も必要と思う。</p> <p>官が民を圧迫するのは問題である。全員が満足するには相当の税金がかかる。そういった場合には、タクシーの利用を考えたらどうか。タクシーの運賃料金は、認可制なので高くないと思っている。皆様が高いと感じるなら、高齢者等への補助券という考え方もできる。</p>
G 委員	<p>交通弱者は、高齢者ばかりでなく交通不便地域に住んでいる健常者もいる。</p> <p>東伸団地は、東の外れなので通勤・通学で不便を感じている人がいる。通勤・通学の人を外すとの話したが、交通弱者である不便地域の通勤・通学の人も考慮していただきたい。</p>
事務局	<p>次回の会議の運行時間帯の検討時にも、議論が集中する所になると思う。通勤・通学の人に対応するなど、サービスの内容を充実させる程に経費がかかる。</p>

秋葉会長	<p>町内循環バスの廃止を重く受け止めており、本当に困っている人に、サービスをすることを第一に考えている。現時点で交通手段を確保されている方は、その交通手段で今後もお願いして、市は手段がなく困っている人を救いたい。朝晩の通勤通学の方は、対象としないことを了解していただきたい。</p> <p>議論が難しいところである。</p>
H委員	<p>市内には既存のバス路線があり、デマンドは既存のバス停までという話であったが、全域を対象とするとバス停まででなく駅まで、あるいはその先までとなるのではないか。既存のバス路線を維持していくために、近くのバス停までとできないか。</p> <p>通勤・通学の人についても、既存のバス停まで足を確保する例もある。時間帯など難しいこともあるが、駅までの既存のバス路線をどう考え、市全域を対象とするのかも検討していただきたい。</p>
I委員	<p>既存の公共交通機関と共存共栄を考えることが必要である。この会議ではデマンドだけではなく、バス、タクシーをどのように生かしていくかも協議していただきたい。</p>
C委員	<p>バスの稼働を良くするためにバス停を増やした事例がある。バスの維持を住民の方が考えて、駅から近い住宅街でフリー乗降可として、その代わり住民はバスを利用する。</p> <p>バス路線は6ヶ月で撤退できる。バスをなくしてデマンドをやった後も、デマンドが長く続く保障はなく、後で、バスを戻してほしいと望んでも無理だと思う。</p> <p>全てデマンドで解決しようとする、デマンドが破綻したときにバスがなくなる。バス、タクシー、JRをうまく利用しながら、デマンドを使うことを考えていただきたい。</p>
秋葉会長	<p>市域全域を運行エリアとする意見が多く、市域プラス隣市の一部施設とするエリアは、運行後、利用状況を見ながら検討す</p>

全委員	<p>る。市域の一部エリアを支持する方はいなかったようなので、1の市域全域を運行エリアとして開始することによろしいか。</p> <p>異議なし</p>
事務局	<p><b>(2) 検討項目2〔運行方式〕及び検討項目7〔運行ダイヤ〕について</b></p> <p>事務局から資料に基づき説明が行われた。</p>
J委員	<p><b>(質疑)</b></p> <p>利用者登録ありで、利用対象者は市内居住者と決定されており、事務局はドア・ツー・ドア方式で考えていただきたいとの話である。その場合、時間当たりどれ位の人数に対応できるのか、車両台数と乗車人数にもよるが、想定されている人数を教えてください。</p>
事務局	<p>現時点での推計であるが、セダントype4人乗りを2台の車両で市域内全域を対象として、事前登録をした市内居住者1日当たり1台20人の需要に応えられると想定している。</p> <p>2台で40人である。日曜日は運行しないとして、一月に25日運行して月1,000人、年間12,000人に利用していただけると推計している。</p>
J委員	<p>台数と月間、年間の利用者の想定人数はわかった。</p> <p>大事なのは、1日の中で多い時間帯がいつかということ。10時から11時、14時から15時が多いのではないかと思うが、ニーズの高い時間帯の推計があれば教えてください。</p>
事務局	<p>近隣の自治体の状況を勘案すると、9時から11時30分、14時から16時30分くらいの利用率が高い。</p>
A委員	<p>予算の関係もあろうが、セダン2台のうち1台を6～8人乗りのワゴンタイプにできないか。人口から見ると、4人乗りで</p>

	<p>は少ないと思う。</p> <p>予約してから迎えに行く時間と、出発して目的地に着く想定時間をお伺いしたい。</p>
秋葉会長	<p>今後検討される内容であるが、運行エリアの検討に必要か。</p>
A委員	<p>推計済みであれば教えていただきたい。</p>
事務局	<p>他市の状況を見ると、1人乗車が70%以上である。工夫して乗り合い率をあげるのが命題だが、最初から8～9人乗りのワゴンではなく、コンパクトなセダンで、まずシミュレーションを行った。</p> <p>迎えに行く時間は、次回の検討項目の予約時間の制限と関係するが、他市では、1時間前までの予約が多く、前日もある。</p> <p>15～20分程度で迎えに行き、買物であれば、1時間程度、通院であれば1時間半から2時間程度かかると認識している。</p>
C委員	<p>事務局のシミュレーションは、おそらく北本市を参考にしていないのではないか。北本市は時間をフリーにしているので、1人乗車が多いと聞いている。</p> <p>近隣市の加須市、久喜市は9時便、10時便、11時便と時間を設定している。こちらの方が少ない台数で、多くの人を乗せられるのではないか。</p> <p>乗り合いが基本と考えると、多くの方に乗っていただくことや、タクシーほど時間の融通はきかないがバスよりは融通が利くことがある。</p> <p>ドア・ツー・ドア方式でよいが、時間に対しては、何時便という方がよい。多少不便になるが、加須市方式で時間を区切ってやっていただいた方が、タクシーより安くよいと思う。</p> <p>久喜市では、1台当たり1時間3～6人でシミュレーションをしている。白岡市の場合、西から東への移動はないと思うので、1時間で行って帰ってこられる。何時便と区切るのも一つの考え方で、少ない車で多くの方に乗っていただくということ</p>

秋葉会長	<p>になると思う。</p> <p>この内容は今後、皆さまに検討して頂ければと考える。</p>
I 委員	<p>ドア・ツー・ドア方式も色々あるが、自宅からか、どこか拠点設けるのか確認したい。</p>
事務局	<p>現時点での事務局で考えているのは、個人の方は可能な限りご自宅に近い場所で乗車いただいて、可能な限りスーパーマーケットの入口付近などで降りられるように乗降所を設定したい。</p>
I 委員	<p>自宅付近に施設の拠点をつくって番号を設けて、予約するときに何番から何番までとした方が、予約しやすいのではないか。</p>
秋葉会長	<p>停留所方式というイメージか。</p>
I 委員	<p>お客も予約を受ける方も分かりやすいのではないかと思う。バス停を設ける意味ではなく、車を停める所に番号をつけるイメージである。</p>
秋葉会長	<p>ドア・ツー・ドア方式だが、車が停まる場所を定めるという考え方か。</p>
I 委員	<p>何々医院というより何番の方がよいと思う。目的地が個人宅より、個人宅の近くの施設の方が効率的であり、検討の余地があるのではないか。</p>
秋葉会長	<p>目的地となる施設をあらかじめ番号で定めたらどうかとの意見である。</p>
G 委員	<p>目的地であるスーパーマーケットに利用者を降ろすと、車は</p>

	<p>一旦本部に帰る。また1時間後に来てもらうためには、帰りも別途、予約する必要があるということか。</p>
事務局	<p>行きと帰りの2回の予約が必要となる。</p>
A委員	<p>車を停める場所に番号を付けるのは、地図上に多くの番号が記載されることになり、大変になるのではないか。</p>
秋葉会長	<p>自宅には番号はなく、特定の主な施設に番号を付けたら受ける方も分かりやすい。</p> <p>全体としては、ドア・ツー・ドア方式に意見は集約される。別途、運用方法、時間帯、予約の仕方についても意見をいただいていた。</p>
C委員	<p>先程、運行ダイヤはフリーでなく、時間便方式の方が良いのではないかと提案した。後で検討するということがあったが、どうするのか。</p>
秋葉会長	<p>定まった時間で出ていく方が1人乗車は少ないということだが、この点についてはどうか。</p>
J委員	<p>9時台と区切ることによって、客のニーズに対応できる人数が決まってくる。先進地ではどうなっているのか。</p>
C委員	<p>久喜市では、1時間3～6名で利用人数は倍となる。予約数は分からないが、出来るだけ回って利用者をまとめている。</p> <p>フリーは便利だが、1人乗車のロスが出やすい。どちらをとるかをこの会議で考えたらどうか。</p>
J委員	<p>複数の方が乗って次々降ろすという形か。</p>
C委員	<p>乗り合いで利用する人が多くなり、1人乗車は少なくなる。ただし、希望時間の15分前、15分後など、時間の調整が増</p>

秋葉会長	<p>えてくる。</p> <p>この部分は予約との関係もあるので、次回、一緒に協議する。加須市、久喜市方式も良いように感じるので、事務局で調査して、検討項目13の予約の時に議論する。よって、検討項目7の運行ダイヤは、保留とさせていただく。</p> <p>検討項目2は、ドア・ツー・ドア方式ということでよいか。</p>
全委員	<p>異議なし</p>
事務局	<p><b>(3) 白岡市の新たな公共交通サービスに関するアンケートについて</b></p> <p>事務局から訂正2箇所と資料についての説明が行われた。</p>
G委員	<p><b>(質疑)</b></p> <p>前回のアンケートと内容は同じか、違うのか聞きたい。</p>
事務局	<p>IとIIは去年とほぼ同じ内容であり、IIの日常の外出については、曜日等を質問に追加している。</p> <p>ほぼ同じ内容としたのは、昨年基礎調査を生かして、多くのサンプルを集めるためである。今年は、昨年発送した方とは違う方を対象としている。IIIは新規の内容である。</p>
秋葉会長	<p>前回は、年齢に関係なく配布したのか。</p>
事務局	<p>前回は16歳以上を対象とし、今回は65歳以上に対象を限定している。</p>
G委員	<p>65歳以上が対象だと、通勤・通学は対象でなくなるということか。</p>
事務局	<p>65歳以上の方は、通勤・通学目的の移動がほぼないため、今回はアンケートの調査対象としなかったものである。</p>

秋葉会長	項目の追加などありましたらお願いしたい。 アンケートの内容は、これでよろしいか。
委員	異議なし
事務局	<b>(4) その他</b> <b>第4回会議の日程について</b> 事務局から8月20日(火)10時からの案の提示が行われた。 質疑なく、案のとおり決定された。
佐々木副会長	<b>4 閉会</b> 佐々木副会長から挨拶が行われた。